

建築学部建築学科

建築学部カリキュラムマップ(建築工学専攻)

【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針) 近畿大学の建学の精神である未来志向の「実学教育と人格の陶冶」に則り、建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、多角的かつ厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき知識・能力を以下に示します。					
1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、コミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際化社会に貢献できること。 2. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけ、都市や建築を形成していく広範なデザイン能力を修得すること。 3. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。 4. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。					

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマ・ポリシーとの対応関係				ナンバリング
						1	2	3	4	
共通教養科目	教養特殊講義A	1年次	2単位	選択科目	社会学、建築学や経済学など幅広い知見に基づき、現在の課題を分析し、これからの社会を構成できる能力を養うための一助となる。そのため、1)国内外の近年の巨大災害からの教訓を学ぶ。2)現在の社会に潜むリスクを理解し、実務に必要な知識を習得する。ことを目標とする。／本科目を履修することによって1)日本の伝統的思想のひとつである和の精神を理解することができ、2)日本の建築を伝統や社会の側面から理解し、それについて意見を述べることができ、3)和の精神や日本の建築を英語で紹介できるようになる。	○				111
共通教養科目	現代社会と法	1年次	2単位	選択科目	社会生活を送るための基礎的な法的知識を習得するとともに、公平公正を理念とする法律の思考過程を知ることでバランス感覚を養い、様々な法的問題に対処するための思考力を養います。	○				112
共通教養科目	環境と社会	1年次	2単位	選択科目	地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ること为目标とする。さらに、人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようにすること为目标とする。1)地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。2)人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。3)日常生活の中で耳にする機会の多い環境グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す。1)企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる。2)製造物責任法を知ることができる。3)科学技術者として必要な倫理を知ることができる。4)品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる。5)知的財産権について知ることができる。6)リスク問題の対処法を知ることができる。	○				112
共通教養科目	技術と倫理	1年次	2単位	選択科目	(1)学生生活の舞台になる「近畿大学」について理解を深め、(2)建築学部という学問領域の広さを知ること、で、「何を学ぶのか」「なんのために学ぶのだろう」という点について考えるようになり、(3)社会との繋がりがりや意義について考えるきっかけをつかむことができることを目指しています。	○				112
共通教養科目	自校学習	2年次	1単位	選択科目	(学習目標)人権侵害および差別の基準を学ぶとともに、その現状と課題について理解する。(到達目標)学習した知識を前提に、人権侵害及び差別の現状と課題について論じることができるようにする。	○				121
共通教養科目	人権と社会1	2年次	2単位	選択科目	我が国の社会問題を正しく認識し、必要な福祉の理念や制度を理解する。福祉サービスや支援専門職の特性を理解する。高齢者・児童・障害者福祉、社会保障・公的扶助の特徴を理解する。	○				121
共通教養科目	住みよい社会と福祉	2年次	2単位	選択科目	(学習目標)メディア・リテラシーや科学技術の進歩と人権など具体的な人権侵害事例とその解決・救済方策について理解する。(到達目標)個別具体的な人権侵害救済について解説できるようにするとともに解決方策を提案できる能力の習得を目指す。	○				122
共通教養科目	人権と社会2	2年次	2単位	選択科目	この講義を通じて、自分の生活に「憲法」がどのようにかかわっているかを理解し、憲法問題を主体的に考えることを通じて、社会の潮流を把握し、物事に対する思考力を養うことが目標です。	○				122
共通教養科目	暮らしのなかの憲法	2年次	2単位	選択科目	資源、エネルギー問題について、科学的に正しい認識を持つと共に、自らの意見を述べ、議論できる力を持てるようになることを目標とする。	○				122
共通教養科目	資源とエネルギー	2年次	2単位	選択科目	知的財産制度の産業上の意味と内容についてよく理解する。企業倫理について理解を深める。	○				132
共通教養科目	企業倫理と知的財産	3年次	2単位	選択科目	世界は広く、多種多様の価値観が存在しています。その一端に触れることで視野を広げてもらうとともに、グローバル化された社会における問題解決のための最良の手段が幅広い知識の獲得とそれに基づく言語化能力(必ずしも自己アピール力ではありません)の向上にあることを理解しても経営学で学ぶ基礎項目のうち、教養科目の内容としてふさわしく、学生にとって将来その知識があることが役に立つと思われる会社やその他の組織を運営するための知識や考え方の修得を目指す。特にビジネスモデルとマネジメントの領域で利用される用語や概念、分析手法の要点を学んでいく。そして、実在の会社をいくつか取り上げ、その会社を企業分析することによってビジネスモデルとマネジメントの理解を深める。履修者が、将来において自らの進路を選んでいく際、多少なりとも希望する企業のことが自分で分かる、あるいは、起業したいと思った時にビジネスモデルを	○				111
共通教養科目	国際化と異文化理解	1年次	2単位	選択科目	①災害という人間にとって困難な状況の中で、人間に必要な医療や生活を提供する志と社会貢献への使命感をもてる人材となる。② 基盤となる概念や基礎知識を修得する。③基本的な考え方の上に、柔軟な思考ができ創造的で、ニーズにかなうシステム構築や提案ができる。④異質な価値や文化を理解し、国際感覚をもって困難に立ち向かうことができる。ことを目標とする。	○				111
共通教養科目	教養特殊講義B	1年次	2単位	選択科目	①グローバル社会に関する基礎的な用語が理解でき、説明することができる。②グローバルビジネスや国際観光がわが国の経済に与える影響やその仕組みを理解し、自分の意見を述べるができる。③国際社会における企業行動を理解し、事業者の視点でビジネスの世界を捉え、自分の企業や個人が国際経済の中で活動する際に関わってくる世界経済の様々な要因につき、貿易、金融(資本取引)、国際的な制度、国家間の経済協議などの項目を通じて国際経済の基礎理論および実務に関わってくる基礎知識を習得し、その影響を自分で考えられるようになることを目標とする。それにより社会の色々な分野で直面するこれらの動きに対し、社会人として上手く対応して活躍できるような力を養う。	○				112
共通教養科目	国際社会と日本	1年次	2単位	選択科目	①マスメディア業界の業界研究、職種などに関する知識・情報の習得。②ニュース・情報収集のポイントを習得。③就職や就職活動に関するモチベーションの向上。以上のことを目標に学習する。	○				131
共通教養科目	メディアの読み方	3年次	2単位	選択科目	建築学を学ぶにあたって、習得する知識の領域や専門性を把握し、自ら問題意識を持って科学的に分析する姿勢を身につけることを目標とする。	◎				111
共通教養科目	基礎ゼミ1	1年次	2単位	必修科目	建築学を学んでいくに当たり、将来どの分野を目指して知識を習得していけばよいのか、また、問題意識を持ちながらどのように学習していけばよいのかなどについて、各分野を横断的に学習し考察を重ねる。少人数形式において、専門科目の内容とそれぞれの関連性について学ぶ。	◎				112
共通教養科目	基礎ゼミ2	1年次	2単位	必修科目	客観的なエビデンスに基づいた犯罪の状況と今後の見通しを説明できる。犯罪発生機序に関する犯罪社会学の知見を説明できる。犯罪発生を食い止められるような科学的な根拠に基づいた防犯手法を説明できる。光の特性について説明できる。光機器およびその応用例(防犯)について説	○				111
共通教養科目	教養特殊講義C	1年次	2単位	選択科目	構成の整った、説得力のあるレポートの作成方法、文章表現を学び、将来の技術者、社会人にふさわしい日本語表現能力を身に付ける。	○				112
共通教養科目	日本語の技法	1年次	2単位	選択科目	[1] DSやAIに関する現状を理解している。[2] DSやAIに関する基本的な概念や方法を理解している。[3] データの正しい利用方法について理解している。[4] スプレッドシートの基本的な機能を使ってデータを操作することができる。	○				111
共通教養科目	データリテラシー入門	1年次	2単位	選択科目	1. 多様化する就業形態・組織形態についての理解。2. 企業経営(概要)についての理解。3. コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上。4. 就職活動における基本的事項の理解。5. 社会で活躍するために必要な能力の理解・養成。	○				131
共通教養科目	キャリアデザイン	3年次	2単位	選択科目						

【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)					
近畿大学の建学の精神である未来志向の「実学教育と人格の陶冶」に則り、建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、多角的かつ厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき知識・能力を以下に示します。					
1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、コミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際化社会に貢献できること。					
2. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけ、都市や建築を形成していく広範なデザイン能力を修得すること。					
3. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。					
4. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。					

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマ・ポリシーとの対応関係				ナンバリング
						1	2	3	4	
共通教養科目	プレゼンテーション技術	3年次	2単位	選択科目	1. 聴き手と相互理解し、聴き手の立場を理解した適切な応答を行うコミュニケーション力を身につける。2. プレゼンテーション力の重要性・必要な能力を理解して、聴き手の納得を得ることのできるプレゼンテーションを実施できるようになる。3. 視覚的效果に配慮した分かりやすいプレゼンテーション補助資料を作成できるようになる。	○				132
共通教養科目	健康とスポーツの科学	1年次	2単位	選択科目	日々の健康・体力作りやスポーツパフォーマンス向上に役立てる科学的基礎知識を養うと共に積極的に参加実行できることとする。	○				111
共通教養科目	生涯スポーツ1	1年次	1単位	選択科目	1) スポーツや健康・体力について科学的に理解し、2) 運動技能を習得し、3) 仲間との協同的・支援的な関わりを強化し、4) 自律的に実践する力を身に付ける。「生涯スポーツ1」は、「生涯スポーツ2」と比較し、基礎的な学びに重点を置いた授業を展開します。	○				111
共通教養科目	生涯スポーツ2	1年次	1単位	選択科目	1) スポーツや健康・体力について科学的に理解し、2) 運動技能を習得し、3) 仲間との協同的・支援的な関わりを強化し、4) 自律的に実践する力を身に付ける。「生涯スポーツ2」は、「生涯スポーツ1」と比較し、応用・発展的な学びに重点を置いた授業を展開します。	○				112
外国語科目	英語演習 1	1年次	1単位	必修科目	(1)プロジェクトの成果を英語で口頭発表することができる。(2)プロジェクトの成果を英語でまとめることができる。(3)自身のプロジェクトに関する質問に対して英語で応答することができる。(4)他者のプロジェクトに関心を持ち、英語で質問することができる。	◎				111
外国語科目	英語演習 2	1年次	1単位	必修科目	(1)プロジェクトの成果を英語で口頭発表することができる。(2)プロジェクトの成果を英語でまとめることができる。(3)自身のプロジェクトに関する質問に対して英語で応答することができる。(4)他者のプロジェクトに関心を持ち、英語で質問することができる。	◎				112
外国語科目	英語演習 3	2年次	1単位	必修科目	1) 3～5名程度のグループを組み、共通の興味・関心・問題意識をテーマとして議論することができること。2) グループ・プロジェクトの成果を、ディベートやパネルディスカッションなどのスタイルで英語で口頭発表して、プロジェクトの成果をグループとして1つのアカデミック・ライティングにまとめ	◎				121
外国語科目	英語演習 4	2年次	1単位	必修科目	1) アカデミック・ライティングの基本的な構造、表現を使って、各自のプロジェクトの成果を英語でまとめること。2) また、その成果を口頭発表するこ	◎				122
外国語科目	英語演習 5	3年次	1単位	選択科目	プロジェクトの成果を英語でポスター発表することができる。プロジェクトの成果をアカデミック・ライティングとして英語でまとめることができる。受講生各自の専門分野の英語の基本表現を使えるようになる。	○				131
外国語科目	英語演習 6	3年次	1単位	選択科目	1. 受講生各自の専門分野で必要な英語コミュニケーションのパターンと特徴を分析し、その応用力を養う。2. 専門分野において、自分の考えを英語でコミュニケーション出来る力をつける。	○				132
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A1	1年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。	◎				111
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A2	1年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。	◎				112
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A3	2年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。	◎				121
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A4	2年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。	◎				122
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B1	1年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。	○				111
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B2	1年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。	○				112
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B3	2年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-2、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。	○				121
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B4	2年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-2、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。	○				122
外国語科目	留学英語	1年次	1単位	選択科目	実践的な場面での語学力の向上を目指し、また、異文化体験を通して国際感覚を養成し、豊かな人間性を養うことを目指す。	○				112
外国語科目	ドイツ語総合1	1年次	1単位	選択科目	受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定5級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。	○				111
外国語科目	ドイツ語総合2	1年次	1単位	選択科目	受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定4級に相当する語彙と表現を習得し、基礎的なドイツ語を理解する力をつけます。	○				112
外国語科目	ドイツ語総合3	2年次	1単位	選択科目	旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験4, 5級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。	○				121
外国語科目	ドイツ語総合4	2年次	1単位	選択科目	旅行や日常生活で困らない程度のドイツ語力を身につけましょう。春・秋に実施されるドイツ語検定試験4, 5級に合格する実力を身につけるという目標にも対応しています。	○				122
外国語科目	フランス語総合1	1年次	1単位	選択科目	フランス語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようになります。フランスの言葉と文化への理解を深め、より広い国際感覚を養うことができます。	○				111
外国語科目	フランス語総合2	1年次	1単位	選択科目	フランス語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようになります。フランスの言葉と文化への理解を深め、より広い国際感覚を養うことができます。	○				112
外国語科目	フランス語総合3	2年次	1単位	選択科目	フランス語の文法知識を深めながら、フランス語を使っているいろいろな表現ができるようになります。身の回りの直接的なことがらについて、フランス語で理解し説明する能力を身に付けることができます。	○				121
外国語科目	フランス語総合4	2年次	1単位	選択科目	フランス語の文法知識を深めながら、フランス語を使っているいろいろな表現ができるようになります。身の回りの直接的なことがらについて、フランス語で理解し説明する能力を身に付けることができます。	○				122
外国語科目	中国語総合1	2年次	1単位	選択科目	「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。	○				111
外国語科目	中国語総合2	1年次	1単位	選択科目	「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。	○				112
外国語科目	中国語総合3	2年次	1単位	選択科目	「総合4」とあわせて、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。	○				121
外国語科目	中国語総合4	2年次	1単位	選択科目	「総合3」とあわせて、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。	○				122
外国語科目	韓国語総合1	1年次	1単位	選択科目	受講者が韓国語の文字を読み、書くことができ、さらにあいさつや自己紹介など簡単なコミュニケーションができるようになることを目指します。	○				111
外国語科目	韓国語総合2	1年次	1単位	選択科目	語彙と文法をバランスよく学び、受講者が初級段階のコミュニケーションができるようになることを目指します。	○				112
外国語科目	韓国語総合3	2年次	1単位	選択科目	受講者がハングル能力検定試験5級から4級程度の文法項目と語彙を身につけることを目指します。	○				121
外国語科目	韓国語総合4	2年次	1単位	選択科目	受講者がハングル能力検定試験4級程度の文法項目と語彙を身につけることを目指します。	○				122

【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)				
近畿大学の建学の精神である未来志向の「実学教育と人格の陶冶」に則り、建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、多角的かつ厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（建築学）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき知識・能力を以下に示します。				
1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、コミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際化社会に貢献できること。				
2. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけ、都市や建築を形成していく広範なデザイン能力を修得すること。				
3. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。				
4. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。				

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマ・ポリシーとの対応関係				ナンバリング
						1	2	3	4	
専門科目	情報処理基礎	1年次	1単位	必修科目	下記の事項について学修することで、今後建築学を学修するために必要な情報処理能力を身につけることを到達目標としている。1. Microsoft Officeアプリケーション(Word/Excel/PowerPoint)の基本的な操作方法を身に付ける。(レポート作成に必要な機能、関数やグラフを使った表作成、スライドによる資料作成レベル)2. Googleアプリ(ドキュメント/スライド/スプレッドシート)の基本的な操作方法を身に付ける。(Microsoft Officeアプリケーションとの連携を理解する)3. コンピュータの構成などICT基礎知識の習得と、インターネット/SNSのメリットデメリットを理解し、適切な利用方法を身に付ける。4. 情報セキュリティの重要性を理解し、さらには個人情報の取り扱いや著作権等の基本的なルールを身に付ける。5. AIの概要を理解し、AIに関する基礎的な知識を身に付ける。6. KudosKnowledge(eラーニング)を活用し、自らアプリケーション操作に関するスキルアップ		◎			211
専門科目	建築概論	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(F)(建築工学の基礎的理解)建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身に付ける。(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養う。到達目標①建築の社会的背景の概略を理解する。②建築にとっての構造・環境・生産の役割の基本を理解する。③建築作品の構成と図面表現の基本的な読解ができる。④身近な事象や社会的な問題を建築的な切り口から見ることの初歩を実践する。⑤建築に興味を持ち、自発的に学んでいく姿勢を身に付ける。		◎			211
専門科目	基礎製図	1年次	3単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、①建築の構成を理解する。②文字と数字を適切に書けるようになること。③線を種類別に引けるようになること。④図面記号を理解する。⑤平面図、断面図、立面図などの基本を理解する。⑥模型制作技術を修得する。の6点である。さらに、図面の美的な魅力や、図面を見る人を意識した理解しやすい表現の工夫などに気を配る姿勢を身に付けることも目標とする。		◎			211
専門科目	基礎数学	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主に対応する。到達目標は、解析学の基礎である極限操作に慣れ、微分の理論的側面を理解し、実際の計算ができるようになり、さらにそれらの知識を各専門分野の問題に適用できるようになるための能力を身につけることを目指す。		◎			211
専門科目	物理学及び演習	1年次	3単位	必修科目	建築学の学習・教育目標のうち(E)数学・物理・情報処理の能力に対応します。建築を学ぶ上で必要となる物理の基礎知識を身につける。		◎			211
専門科目	スケッチ表現	1年次	2単位	選択科目	建築学の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標は1.建築空間や形態の基礎的な表現方法の習得。2.ドローイングや模型制作を通じて建築が創造的行為であることを学ぶ。		○			211
専門科目	情報処理実習1	1年次	1単位	選択科目	建築学を学修するために必要な情報処理能力を身につけることを到達目標としている。		○			212
専門科目	建築基礎演習	1年次	3単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、3次元の作図方法の修得、建築に関する製図法の修得、建築物に対する総合的な理解の3点である。		◎			212
専門科目	3D・CAD演習	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、1. 画面が操作できる。2. 頂点・エッジ・面の移動・拡大ができる。3. プッシュ・プル、フォローミーなど変形コマンドが使える。4. 2次元から3次元に起こせる。5. 地図情報とのリンクができる。6. マテリアル・コンポーネントを使うことができる。7. 建築物の外形を表現できる。8内部空間を含		◎			212
専門科目	建築構法	1年次	2単位	必修科目	(F)建築工学の基礎的理解に主に対応する。コンクリート造、鉄骨造、組構造、木質構造など様々な構法の名称、概要を修得すること及び構成部材の名称、使用材料の名称などを基礎知識として修得することを目標とする。		◎			212
専門科目	数学概論	1年次	2単位	選択科目	建築学の学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主に対応する。到達目標は、1)色々な対象に共通な要素を取り出し、ひとまとめにし、統一して理解する力を身につける。2)抽象化したものについて、具体的に計算する能力を身につける。		○			212
専門科目	情報処理実習2	2年次	1単位	選択科目	下記の事項について学修することで、建築学を学修するために必要な情報処理能力を身につけることを到達目標としている。[1] Pythonの文法に従ったプログラムを作成できる。[2] 数値、配列、ポインタ、文字列などのデータを処理するプログラムを作成できる。[3] 選択、反復、関数などの制御構造を用いたプログラムを作成できる。		○			221
専門科目	建築設計概論	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標である、建築図面のリテラシー「建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養う」に対応する。付随的に、建築工学の基礎的理解「建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける」にも対応する。到達目標は、図面を読む力と、公共性や機能、動線など建築設計における基本的な概念に関する知識の習得と、設計演習のための分析法、設計手法の基礎を理解することである。			◎		211
専門科目	環境工学概論	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(F)建築工学の基礎的理解に主に対応する。付随的に(C)専門家倫理、(D)自発的・主体的な学習にも対応する。到達目標は、持続可能な社会における建築の位置付けと、この中での環境工学(建築環境・設備)の役割を理解すること。建築諸条件と人との関連、これに立脚した音・熱・光・空気などの建築環境工学の対象要素と技術を理解する。			◎		211
専門科目	静定構造力学1	1年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(F)「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。2、構造にかかる荷重(外力)と構造物内部の力の流れ(応力)を理解する。3、簡単な構造物(静定構造物)の応力解析ができる。4、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。			◎		211
専門科目	静定構造力学演習1	1年次	1単位	選択科目	建築学の学習・教育目標(F)「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。2、構造にかかる荷重(外力)と構造物内部の力の流れ(応力)を理解する。3、簡単な構造物(静定構造物)の応力解析ができる。4、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。			○		211
専門科目	設計演習 I	2年次	3単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標は、1.図面や模型などの建築の表現手段を身につける。2.動線計画やゾーニングなどの計画手法をマスターする。3.三次元の空間をイメージする能力を身につける。4. コンセプト(デザインの方針を定める着想)の構築が、建築の形態や空間につながることを体験的に理解する。			◎		321
専門科目	建築設計論	2年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標は、現代建築の様々な様相とそれに至る歴史を概略理解することと、建築に対して興味を持ち今後自ら積極的に建築を学んでいけるようになることである。			◎		321
専門科目	住宅計画	2年次	2単位	必修科目	建築学の学習・教育目標(H-1)設計・計画、(J-1)住宅と社会に主に対応する。付随的に(C)専門家倫理にも対応する。到達目標は、1. 住宅の成り立ちを理解する。2. ライフスタイル・ライフサイクルと住空間の関係を理解する。3. 各室の機能構成を理解する。4. 地球環境と住宅の関係を理解する。5. 住宅建築と防災・防犯との関係を理解する。6. 少子高齢化社会における住宅管理と住宅の関係を理解する。7. 住宅を計画する			◎		321
専門科目	音・光環境	2年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標の(F)建築工学の基礎的理解に対応する。建築計画に際して考慮すべき音・光環境の問題とその解決方法の基本を理			◎		321

【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)				
近畿大学の建学の精神である未来志向の「実学教育と人格の陶冶」に則り、建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、多角的かつ厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき知識・能力を以下に示します。				
1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、コミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際化社会に貢献できること。				
2. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけ、都市や建築を形成していく広範なデザイン能力を修得すること。				
3. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。				
4. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。				

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマ・ポリシーとの対応関係				ナンバリング
						1	2	3	4	
専門科目	静定構造力学2	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(F)「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。2、断面の諸常数の計算ができる。3、静定構造物の応力解析に基づいて応力検定ができる。4、複合応力に対する主応力の計算や座屈の計算ができる。5、静定梁のたわみの計算ができる。6、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。			◎		321
専門科目	静定構造力学演習2	2年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標(F)「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。2、断面の諸常数の計算ができる。3、静定構造物の応力解析に基づいて応力検定ができる。4、複合応力に対する主応力の計算や座屈の計算ができる。5、静定梁のたわみの計算ができる。6、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。			○		321
専門科目	2D・CAD演習	2年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主に対応する。到達目標 ①記述能力、描画能力を通して、アイデアを具体化する能力を養う。②コンピュータを使ったビジュアルデザインによって設計意図を明確化し、設計・計画の質を向上させる能力を養う。③基本的な2次元CADの技法を習熟し、3級CAD検定試験に合格できる実力を付ける。			○		321
専門科目	設計演習Ⅱ	2年次	3単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標(G)の建築図面のリテラシーと(H-1)の設計・計画の知識習得に対応する。到達目標は、1.動線計画やゾーニングなどの機能的計画手段をマスターする。2.設計条件を整理し、デザインを具体化する能力を習得する。3.三次元の空間をイメージする能力を身につける。4.コンセプトをまとめながら、それが形態や空間につながることを理解する。			◎		322
専門科目	建築計画総論	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標 (H-1)(設計計画)新しい時代に即した住まい方や使い方に対応できる設計・計画の知識を修得する、及び(K-1)(建築プロジェクトの企画力)に対応する。到達目標 1)建築計画に関する基本的知識と手法を修得する、2)建築と人間の関わりに関する重要な概念を理解する、3)それらを適用した建築の計画やデザイン方法の基本を修得する、4)社会や時代に対応した人間的な建築を構想・計画・マネジメン			◎		322
専門科目	アーバンデザイン	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(H-1)設計・計画ならびに(I-2)デザイン理論と表現技術、(J-2)住宅とまちなみ、(K-3)都市・まちづくりに対応する。アーバンデザインについて、その基本的考え方について理解するとともに、みずからデザインできるための基礎的素養を身につける。			◎		322
専門科目	建築材料	2年次	2単位	必修科目	1) 建築における材料の重要性を理解する。2) 建築材料の種類、性質、用途等についての知識を修得する。3) 建築材料を選定するための基礎的能力を獲得する。			◎		322
専門科目	近代建築史	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習教育目標(G)建築図面のリテラシー、(F)建築工学の基礎的理解に対応する。受講者は、この授業を受講することによって、近代から現代までの建築デザインを建築史の観点から考えられる。			◎		322
専門科目	熱・空気環境	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(F)(建築工学の基礎的理解)に主に対応する。教育目標は、1.熱環境と空気環境の目的を理解する。2.熱・空気環境の基礎理論を理解する。3.基礎理論をもとに建物の熱と空気環境の予測手法を習得する。4.熱・空気環境の種々問題に対する解決法を学ぶ。具体的には、熱については小規模建物の熱損失係数の算出、空気については、ダクト換気設計手法の基本の習得を到達目標とする。			◎		322
専門科目	不静定構造力学	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標「(F)建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。」に主に対応する。教育目標は、以下の通り。1.一級建築士、二級建築士の試験に出てくる部材の変形計算、応力法による不静定構造力学の問題が解けるようになること 2. 実社会に出て設計や施工管理に携わるときに必要な基本的な構造力学の知識を習得できること			◎		322
専門科目	不静定構造力学演習	2年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標「(F)建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。」に対応する。教育目標は、以下の通り。1.一級建築士、二級建築士の試験に出てくる部材の変形計算、応力法などによる不静定構造力学の問題が解けること。2.実社会に出て設計や施工管理に携わるときに必要な構造力学の知識を習得すること。			○		322
専門科目	設計演習Ⅲ	3年次	2単位	必修科目	建築学部の学習教育目標である(設計・計画)と(デザイン・プレゼンテーション能力)に対応する。・各課題共有の到達目標は以下の通りである。1、設計に際し留意すべき条件(構造、環境設備、法規)を把握する。2、建築の設計条件に対する合理的かつ提案的解決を示す。3、建築の形態			◎		431
専門科目	建築計画各論	3年次	2単位	必修科目	学習・教育目標 (H-1)(設計計画) 新しい時代に即した住まい方や使い方に対応できる設計・計画の知識を習得する。(I-2)(デザイン理論と表現技術) 多角的にデザイン理論を学ぶとともに、自らの構想をわかりやすく直観的に多くの人に伝える能力を養う。(K-1)(建築プロジェクトの企画力) 時代の変化を読み取り、社会・経済状況を踏まえながら地域にとって必要とされる建築プロジェクトを企画できる能力を養う。到達目標は、1.建築の機能性や快適性に関する知識と手法の習得。2. 建築の設計に応用できる能力の育成である。			◎		431
専門科目	コンクリート構造	3年次	2単位	必修科目	建築学部教育目標(F)(建築工学の基礎的理解) 建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。1. 鉄筋コンクリートの基礎原理を理解する。2. 鉄筋コンクリート部材の設計手法(具体的な計算方法)を学ぶ。3. 鉄筋コンクリート構造の耐久性について学ぶ。4. 鉄筋コンクリート構造以外のコンクリート構造の特徴について理解する。			◎		431
専門科目	鋼構造	3年次	2単位	必修科目	建築学部の学習教育目標(F) 建築工学の基礎的理解に対応する。具体的には、許容応力度設計法に基づく構造計算の考え方と手順を理解す			◎		431
専門科目	建築設備概論	3年次	2単位	必修科目	建築学部の学習教育目標である(F)建築工学の基礎的理解に対応する。気象条件、建物の条件、建物の使用状況などをふまえて、適切なエネルギー、電気、給排水衛生、空気調和、防災・安全設備を理解することである。各設備の役割を理解し、建築計画に際して環境条件を配慮して、建築設備の側面からも、適切な建築計画ができる知識を身につける。			◎		431
専門科目	耐震耐風工学	3年次	2単位	必修科目	建築学部 建築工学専攻の学習・教育目標「(H-2)構造・環境・生産の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計、環境性能・建築設備に必要な専門知識、能力を養う。」に主に対応する。教育目標は、日本において度々発生する大地震や強風に耐える建築物を如何に設計するかその基礎知識を養うと共に、耐震耐風設計に関わる最新技術に触れることにより新たな技術の創造力を養う。			◎		431
専門科目	日本建築史	3年次	2単位	選択科目	1)建築を歴史的に考えることの意義を理解し、2)木造を中心とした日本建築の基礎的な知識を習得し、3)建築を創造する上での一つの拠り所を見つけ出すことができるようになります。なお、この科目の修得は、建築工学専攻の学習教育目標(H-1)設計・計画の専門知識習得に対応し、建築デザイン専攻の学習教育目標(I-3)の様式や形式に基づく設計できる能力の養成に対応します。			○		431
専門科目	木質構造	3年次	2単位	選択科目	建築学部学習教育目標の(H-2)構造・環境・生産に対応する。木造住宅の構法、木材の性質、建築基準法の壁量計算、および、偏心率による構造計画を理解する。			○		431
専門科目	環境演習	3年次	2単位	選択科目	建築学科の学習・教育目標(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。付随的に(D)自発的・主体的な学習に対応する。到達目標は1.住宅の暖房負荷の計算と負荷に及ぼす各要素の影響を理解する。2.自然換気計算と換気量の評価について理解する。3.室内騒音レベルの計算と騒音対策について理解する。 4.昼光率の計算と昼光照明の評価について理解する。			○		431

【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)
近畿大学の建学の精神である未来志向の「実学教育と人格の陶冶」に則り、建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、多角的かつ厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき知識・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、コミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際化社会に貢献できること。
2. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけ、都市や建築を形成していく広範なデザイン能力を修得すること。
3. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。
4. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマ・ポリシーとの対応関係				ナンバリング
						1	2	3	4	
専門科目	現代都市計画	3年次	2単位	選択科目	(H-1)設計・計画、(J-1)住宅と社会、(J-2)住宅とまちなみ、(K-1)建築プロジェクトの企画、(K-2)建築マネジメント、(K-3)都市・まちづくりに対応し、現代の社会情勢を踏まえながら、建築やまちづくりに関する課題や潮流を理解する。その課題に向けた取り組みや実践から今後の展望について、建築的視点から具体的な解決手法を考える力を付けることを目標とします。			○		431
専門科目	建築施工	3年次	2単位	必修科目	(1)建築施工の全体像の把握、(2)各工種の施工方法と管理についての基礎知識の習得、(3)施工管理実務についての予備知識の習得ができる			◎		432
専門科目	建築行政	3年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標である「社会学や心理学など住宅に関わる幅広い知見に基づき、これからの住宅を構成できる能力を養う」ための一助となる。学習教育目標のうち、J-1:住宅と社会、K-1:建築プロジェクトの企画力に対応する。到達目標は、1)建築関連法規の基礎と考え方を理解する、2)法令の背景と理念を理解する、3)建築士試験への準備知識を身につける、4)建築の企画・設計・施工・運営に必要な法規のポイントを理解する、5)建築の歴史と文化を理解する、6)建築の環境と社会を理解する、7)建築の経済と市場を理解する、8)建築の法規と行政を理解する、9)建築の計画と設計を理解する、10)建築の施工と管理を理解する、11)建築の運営と評価を理解する、12)建築の国際化とグローバルな視点を持つ能力を身につけることを目標とする。			◎		432
専門科目	ゼミナール演習	3年次	2単位	必修科目	建築学部の学習教育目標である(L)ゼミナールと卒業研究に記載されている「建築学の専門知識に基づき、社会で要求される水準にある課題や問題について創造的に解決する能力を養う」ことを目標として設定する。(E)(数学・物理・情報処理の能力)、(F)(建築工学の基礎的理解)、(G)(建築図面のリテラシー)に対応する。付随的に(D)(自発的・主体的な学習)にも対応する。到達目標は、各ゼミナールでの専門分野を学習して問題意識を深めることによって、卒業研究・卒業設計に着手できる能力を養う。				◎	531
専門科目	設計演習Ⅳ	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標の(H-1)(設計・計画)、(I-1)(デザイン・プレゼンテーション能力)に対応する。到達目標は1. 設計・制作に際し留意すべき条件(意匠、機能、構造)を把握する。2. 制作条件に対する合理的かつ提案的解決を示す。3. 建築的な視点を含めて社会に提案する。			○		432
専門科目	西洋建築史	3年次	2単位	選択科目	到達目標は、西洋建築史の概要を理解し説明ができること。1. 西洋建築の古代から近代初期までの構造、用途、様式を理解する。2. 西洋建築の理論と空間の特質を理解する。3. 設計演習、卒業研究／設計に有用な参照事例として基礎知識を身につける。			○		432
専門科目	建築地盤・基礎構造	3年次	2単位	選択科目	建築物を安全に支えるために必要な地盤と基礎構造との関連性について理解を深め、そのための設計理論と設計方法について習得することを目指す。			○		432
専門科目	コンクリート構造演習	3年次	1単位	選択科目	建築学部の学習教育目標(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。構造の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計に必要な専門知識、能力を身につける。			○		432
専門科目	鋼構造演習	3年次	1単位	選択科目	建築学部の学習教育目標(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。構造の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計に必要な専門知識、能力を身につける。			○		432
専門科目	建築構造実験	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習教育目標のうち(H-2)構造・環境・生産の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計、環境性能・設備計画に必要な専門知識、能力を養うに主に対応する。到達目標は、鉄筋コンクリート構造及び鋼構造の梁の破壊状況を観察し、部材強度算定式の理論と実験結果を比較検討し、その結果を評価できる能力を身につける。			○		432
専門科目	建築環境実験	3年次	2単位	選択科目	建築学科の学習・教育目標の(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。到達目標は、1. 建築環境要素の評価方法および基準を理解する。2. 各環境要素に関して測定を実施しその結果を評価できる能力を身につける。			○		432
専門科目	建築設備各論	3年次	2単位	選択科目	学習・教育目標(H)建築工学専攻は、(H-2)(構造・環境・生産)構造・環境・生産の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計、環境性能・設備計画に必要な専門知識、能力を養う。(I)建築デザイン専攻は、(I-3)(様式や形式)人類がこれまでに創造した美術や技術の様式に基づいて設計できる能力を養う。到達目標は以下である。1. 給排水衛生設備と空気調和設備の設計・計画における基礎事項に関する理解。2. 各種設備方式の選定方法の理解。3. 設備機器容量を算定するための計算方法の理解。			○		432
専門科目	建築再生論	4年次	2単位	選択科目	建築の再生の企画及び設計に必要な基礎的な知見を事例学習や練習問題で身につける。			○		441
専門科目	環境設備計画	4年次	2単位	選択科目	建築学科の学習教育目標(H-2)環境・構造・生産に対応する。到達目標は、建築物の設計、工事監理等を行う技術者として必要な知識を習得する。			○		441
専門科目	建築総合演習	4年次	2単位	必修科目	設計を通じた全科目の統合的な科目であるため、各専攻の学習教育目標に対応する。到達目標は、建築の企画から設計に至る過程において、意匠、構造、設備を相互に関連付けながら設計を進め、まとめる力を身に付けること。				◎	541
専門科目	卒業研究・設計	4年次	8単位	必修科目	建築学部の学習教育目標である(L)ゼミナールと卒業研究に記載されている「建築学の専門知識に基づき、社会で要求される水準にある課題や問題について創造的に解決する能力を養う」ことを目標として設定する。到達目標は、社会から要請される専門分野としての力量を身につけることを目指す。				◎	541
専門科目	インターンシップ	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習教育目標である(E)(数学・物理・情報処理の能力)、(F)(建築工学の基礎的理解)、(G)(建築図面のリテラシー)に対応する。付随的に(D)(自発的・主体的な学習)にも対応する。到達目標は以下である。(1)受講者がこの科目を通して自らの職業観を確立できること。(2)自分が学んでいる学問の意義を十分理解し、自主性を備えた人材に成長すること。				○	531
専門科目	社会奉仕実習	3年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標である社会的要求水準への対応に対応する。(1)受講者がこの科目を通して倫理観や社会貢献の精神、公共性や社会性の意識を身につけることを目標とする。				○	531